

河川の擁護者ジャッキー・キング博士が2019年ストックホルム水大賞を受賞

ストックホルム（スウェーデン）、2019年3月19日/PRニュースワイヤー/ --

ジャッキー・キング博士が、世界の河川管理への画期的貢献で2019年ストックホルム水大賞（Stockholm Water Prize）受賞者に指名されました。彼女は水量に関する科学的理解を進め、水系開発の実質コストとメリットの評価ツールを意思決定者たちに提供しました。



キング博士は南アフリカ、ケープタウン大学（University of Cape Town）の研究者として、後にはウエスタンケープ大学（University of the Western Cape）の名誉教授としてツールの開発を指揮。同僚らと共に、河川の堰堤・排水の経済的、社会的影響を示す方法を開発しました

受賞の知らせにキング博士は、「恐縮すると共に励まされ、苦勞が報われたことを感じています。これまで注目を浴びるような仕事を求めたことはありませんが、言うべきことを自由に口にできる現役科学者であることを嬉しく思っていました」と語りました。

何百万もの人々にとっての河川の価値と重要性に対する認識を高めるという尽力により、キング博士は世界の研究者や水管理者から高く評価されるようになりました。指名委員会の紹介文には、「ジャクリーン・キング博士は、科学に対する厳密性、無私無欲の献身、効率の良い支援で、私たちが命の流れであると同時に命を救う水のために考え、話し、働く方法を変えました」とあります。

キング博士の業績は南アフリカの1998年国家水法（National Water Act）に影響を与え、世界の政府や機関を導くようになってきています。「水資源を開発する政府は、期待できる利益を理解していますが、河川の質を低下させるという意味でのコストを必ずしも理解していません。私たちはこれら生態学的および社会的コストを、設計者たちが示すメリットと同じぐらい詳細に示すことができるようになりました。政府が、より望ましい未来を決定する際に開発の代償をより理解するための新種の情報なのです」と、彼女は語ります。

SIWI（ストックホルム国際水協会）常任理事、トルグニー・ホルムグレンは、「キング博士は、健全な河川の生態系が贅沢ではなく、持続可能な開発の土台であることを意思決定者たちが理解できるようにしました」とコメントしています。

賞は、指名を決定するスウェーデン王立科学アカデミー（Royal Swedish Academy of Sciences）と共同でSIWIが授与、ストックホルムの世界水週間（World Water Week）期間中、8月28日のロイヤル・アワード・セレモニー（Royal Award Ceremony）においてストックホルム水大賞の後援者であるスウェーデン王、カール16世グスタフ陛下が授与します。

編集者注記

受賞者について：<http://www.siwi.org/swp2019>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/SIWIwater>

ツイッター：https://twitter.com/siwi_water ハッシュタグ：#SWP2019

お問い合わせ：Maria Sköld、maria.skold@siwi.org、+46-720506033

写真 -

https://mma.prnewswire.com/media/835249/Stockholm_International_Water_Institute_SIWI.jpg